

学校教育目標	いきいき学び、輝く大道っ子 (知)自ら学び、自分の思いを表現できる子を育てます。 (徳)友だちとのかかわり合いを大切に、誰とでもなかよくする子を育てます。 (体)心と体をきたえ、自分や人の命と体を大切にする子を育てます。 (公)地域に愛着をもち、地域と共に生きる子を大切にします。 (開)様々な社会の変化に柔軟に対応できる子を育てます。					
	学校概要	創立 78 周年	学校長 加藤和之	副校長 落合史男	2 学期制	一般学級: 12 個別支援学級: 3
児童生徒数: 353 人		主な関係校: 大道中学校 朝比奈小学校 六浦南小学校				

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<言語能力> <問題発見・解決能力> <自分づくりに関する力>	大道中学校 大道小学校 朝比奈小学校 六浦南小学校	自他の関係づくりを大切にする子ども ・「コミュニケーション能力の育成」をテーマとし、各教科・領域において授業を展開する。 ・教務主任会や専任会での情報を基に、「学習・生活スタンダード」の改善を進める。 ・学習指導、児童・生徒指導の情報共有をていねいにし、自己有用感を高める取り組みを進める。 ・「児童生徒交流日」と「別日程の小中の児童・生徒の交流日」を積極的に活用する。

中期取組目標 【安心】 ~どの子どもも安心して生活できる学校を目指します。 ○児童支援体制が生きてはたらくものになっているか常にチェックし、チームで子どもを支援できるようにする。 ○子どもが自分や友達のよさを大切に、互いに尊重し合える子の育成を図る。 【つながり】 ~人や地域とのつながりを大切にする教育活動を進めます。 ○子どもが主体的に学べるよう、問題解決的な学習の充実を図り、子ども同士のつながりを大切にする。 ○異学年同士がつながる学習(なかよし班の活動)を大切に、優しい心や規範意識の醸成を図る。 ○地域の材、人がより有機的に学習とつながるよう教育課程の編成を工夫し、地域と共に生きる子の育成を図る。

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①児童の気付きや問題意識を重視し、見通しをもって学習に取り組んだり、課題をもたせたりすることで、より主体的な学びにつなげることができるようにする。 ②各教科において、表現する活動を積極的に取り入れることで、目的や相手に応じて分かりやすく話したり、簡潔に自分の考えを述べたりすることができるようにする。
豊かな心	①人とのつながりの基本となる挨拶が、誰に対しても自分からできる子を育てる。②道徳教育の充実を図り、互いのよさを認め合う心や態度を育てる。③異学年で構成するなかよし班の活動を充実させ、優しい心や規範意識の醸成を図る。
健やかな体	①学校保健委員会において、前期「食と運動」、後期「歯」に関して学ぶことにより、自分の健康に対する意識と習慣を身につける。②一校一実践運動に「縄跳び」を取り入れ、児童の体力向上につながる活動を実践していく。
特別支援教育	①個別の教育支援計画・指導計画を活用し、アセスメントを行い、今どんな支援が有効なのか、またどの関係機関との連携が効果的なのかを考え、支援を進めていく。②特別支援教室を効果的に使用できるよう、その目的や有効性に合わせて、週末の会議で調整を行う。
教育環境整備	①とんぼ池や花壇、田んぼなど校地内の環境を地域の方と協働しながら、職員が維持・管理するよう努め、生きた学習につなげる。②計画的に教材・教具・図書などを整備するとともに、日頃より整理整頓を心がける。PCルームの環境整備やICT機器の教室での適切な保管、整備を行う。
地域連携	①子どもがより主体的に活動できるよう、地域交流委員会を中心に、地域とのかかわりや行事の見直しを図ったり、新たな取組を考えたりする。②学校運営協議会の設置に向けて、「まちと共に歩む学校づくり懇話会」での話し合いを進める。
児童指導	①スタンダードを基本とし、全職員で指導方針を一本化できるようにする。また必要に応じて見直し、よりよいものにしていく。②児童支援選任を核とし、児童の実態を細かく分析しながら、個別の対応や保護者への面談を行い保護者と共に児童指導がスムーズに行えるように、職員会議で児童の状況を共有できる場を設定し職員全体で児童一人一人の把握に努める。
いじめへの対応	①教職員のいじめへの感度を高め、小さなことでも、学年や専任、管理職と共有し、早期発見、早期解決を目指すべく、毎月の研修を大切に、対応のスキルを上げる。②いじめアンケートを活用し、校内のいじめの把握に努め、被害者をしっかり守るという意識で、対応に当たっていく。
人材育成・組織運営(働き方改革)	①教職員それぞれが自身の役割を自覚し、教育活動を組織的に進めることができているか、組織や役割について常時チェックする。②メンターチームを月1回開催し、経験年数の少ない職員の自主性を生かしつつ、授業力の向上が図れるようにする。③時間外勤務の削減に向けて、職員のアイデアを積極的に取り入れながら業務を見直し、さらなる業務の効率化を図る。